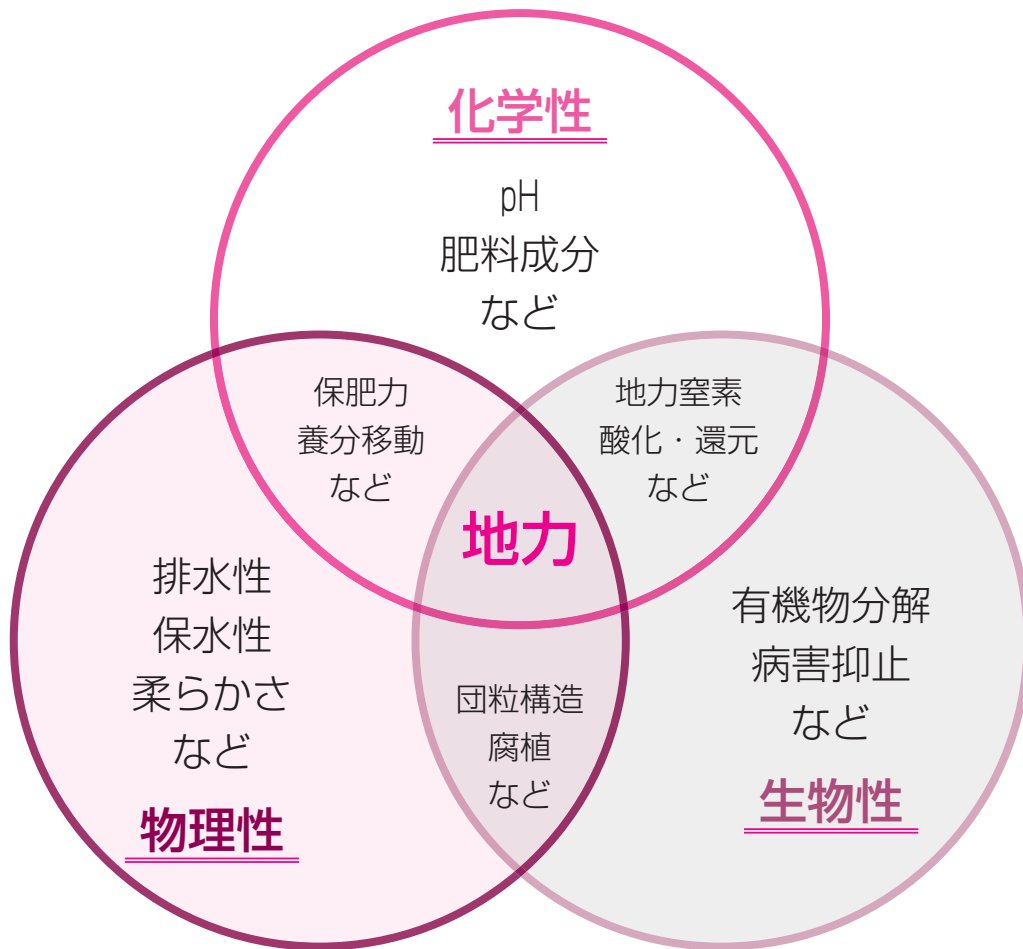


地力の構成要素



「土壌分析」

あなたもはじめませんか？

良い土壌とは3要素が全て整うことが大前提

なぜ土壌診断が必要なのか？

リンゴの生産量を高めていく中で、健康な土づくりは極めて重要である。健康な土壌環境を整えることで生理障害の発生を防ぎ、高品質生産による経営安定へと導く。肥料などの価格高騰が続くなか、土壌診断の活用でしっかりと園地の土壌特性を理解することで肥料代のコスト低減にもなり、効率よく土壌改良ができることから、土壌診断で現状の土壌状態を正確に把握する必要がある。

3要素とは

土壌は3つの要素がバランス良く保たれ、ひとつでも欠けていると生理障害を及ぼす原因となってしまう。物理性については、土が柔らかく団粒構造が発達、通気性・保水性・透水性を改善し、作物の根が張りやすい環境を作ることが大切といわれている。化学性については、pHが適当な範囲であることや養分保持力が高いこと、塩基バランスが保たれていることが良いとされている。生物性については、多種多様な土壌生物が生息増加しており、各種微生物が安定した状態で混在することで土壌病害が起らないとしている。

この3つの性質が互いに絡み合い、総合得点が良い

色付きが悪い

土壤診断をすると肥料代コストの低減と、効率の良い土壤改良ができ「とても計画的！」

土壤診断

施肥

症状改善



堆肥を入れてみよう

1年目

やや改善

Mgを入れてみよう

2年目

やや改善

リン酸を入れてみよう

3年目

やや改善

症状改善につながっていく

4年目

●土壤改良へ近道は土壤分析をすることが一目瞭然。

項目		測定値	標準値	単位
PH		6.5	5.5-7.5	
有機質		15.0	10.0-20.0	%
窒素		0.15	0.10-0.20	%
リン		10.0	5.0-15.0	mg/kg
カリ		150.0	100.0-200.0	mg/kg
カルシウム		10.0	5.0-15.0	%
マグネシウム		0.5	0.3-0.7	%
亜鉛		1.0	0.5-1.5	mg/kg
銅		1.0	0.5-1.5	mg/kg
マンガン		10.0	5.0-15.0	mg/kg
モリブデン		0.5	0.2-0.8	mg/kg

この土壤診断書が早期多収のカギとなる

いことを「地力」といっ。

ただ単に施肥をすれば良いのではなく、土の中の有機物の分解をする役割を持つ土壤微生物が住みやすい環境を整えないことには、栄養分を吸収可能な状態に出来ないのだ。

まずはサンプルの提出を

当管内では、地力の3要素である「化学性」になかなか踏み込む生産者が少ないのが現状である。上記の図でもわかる通り、土壤改良への近道は土壤分析をすることが一目瞭然だ。施肥をした翌年に全てが解決する訳ではないが、土壤分析を行わず模索するよりも確実に症状改善へと前進する。

土壤診断を受けて、窒素が低いのか、高いのかなどを分析し、単に不足しているものを施肥するだけでなく、その効果を発揮させるためにはどのようなことをしなければならぬのかを検討する必要がある。

土壤分析により、より確実な施肥設計ができることから、まずは土のサンプルを採取し、農業振興課に提出していただきたい。